

心に構成されていることを示している。

月	週	合科的単元		開 連 導 教 科										
		単元名	時数	算 数	理 科	音 楽	時 間	題 材 名	時 配	時 間	題 材 名	時 配		
11	25	*のはやきのみ かぜ	7	9月	100までの かず	1/10	11月	きのはき みあつめ	1/4	4/4	11月	おとえらび	3/7	
	26													4/7
	27													
12	28	かげあそび	6	1月	かげも うつそ	1/4	4/4							
	29													
	30													
	31													
	32													
33														

(5) 合科的単元指導計画例

1. 単元名 きのはやきのみであそぼう (11月教材 7時間扱い)
2. 関連教科の目標と単元設定の意図

教科	目標と内容	合科的指導の意図
理科	<p>目標 (1)・内容 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な自然の事物・現象に親しませ、それらを見たり試したりさせて、事物・現象の著しい特徴に気付かせるようにするとともに、自然に接する楽しさを味わわせる。</li> <li>・いろいろな植物を探したり、葉・花・実などを使った活動をしりさせながら、それらの色・形・汁などの特徴に気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○この単元は、理科と図工を中心とした合科的単元である。</li> <li>・身近な自然物をたくさん集めて、それを使って並べたり数えたり、連想するものを作ったりする活動を通して自然物に対する観察が深まり想像が豊かになるとが期待される。(理・図)</li> </ul>
算数	<p>目標 (1)・内容 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的な事象の取扱いを通して、数の概念や表し方について理解させるとともに、簡単な場合について加法及び減法が用いられるようにする。</li> <li>・ものの個数・順序などを数を用いて正しく表すことができるように理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、親しみのある素材を使って、はやく正しく数えることの必要感をもたせることは、以後の教科指導を効果的に導くのに都合がよい。</li> <li>・さらには、自然に親しむ体験が歌詞の表す情景の想像をより豊かにする効果をもつものと考えられる。(音)</li> </ul>
図工	<p>目標 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○初歩的な造形活動の楽しさを味わわせるとともに感じたことや考えたことを絵や立体で表す喜びを味わわせる。</li> </ul>	

3. 総合目標

○秋の野山に出て、いろいろな植物を見たり、木の葉・木の実を探したり、集めたり、好きな形を作ったり、絵に書いたりする活動を通して、植物の色や形などの特徴・美しきや巧みに気づかせるとともに、秋の自然(植物)に親しむ楽しさを味わわせる。

4. 指導計画

(1) 関連教科

教科	理 科	算 数	図 工	音 楽
題材	きのはきのみあつめ	100 までのかず	きのはきのみでつくる	おとえらび
時数				
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木の葉や木の実の採集</li> <li>・珍しい葉や実</li> <li>・拾った数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○99までのものを数える。</li> <li>・数え方の工夫</li> <li>・数詞の唱え方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木の葉や木の実をたくさん集め並べて遊ぶ。</li> <li>・並べ方を工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ことりのうた」</li> <li>・歌にあわせてリズム打ち</li> <li>・楽しく交互唱</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木の葉や木の実の展らん会</li> <li>・自慢の葉や実の特徴の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2位数の表し方と意味</li> <li>・99までの数の読み方、書き方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木の葉や木の実から発想して作る。</li> <li>・色や形から作りたいたいのもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ことりのうた」</li> <li>・曲の感じにあう楽器のリズム伴奏で楽しく歌う。</li> </ul>
	○木の葉や	○2位数の		

(2) 合科的指導

分節	具 体 目 標	活 動 と 内 容
第一 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木の葉や木の実に興味や関心をもつことができる。</li> <li>○夏のころに比べて木の葉の色など、変化しているものがあることに気づくことができる。</li> <li>○種類の違う木の葉や木の実をたくさん集めることができる。</li> <li>○集めた葉や、実の特色(色・形など)を紹介することができる。</li> <li>○葉や実の色や形から連想して作りたいたいのを並べて遊ぶことができる。</li> <li>○どんぐりになったつもりで、楽しく歌うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木の葉や木の実で作ったものを見て、色のおもしろさについて話し合い、木の葉や木の実の採集計画を立てる。(理、図)</li> <li>○絵地図で採集地までの道順を調べ、危険な場所を確認する。</li> <li>○自然の中から秋らしいものを見つけながら、木の葉や木の実の拾える場所に行く。(理)</li> <li>○落ち葉や木の実をたくさん拾い集め、どの木から落ちたものか確かめる。</li> <li>○自慢の葉や実を紹介する。</li> <li>○どんなものが作れるか、地面に並べて遊ぶ。(図)</li> <li>○木の下で楽しく「どんぐりころころ」を歌う。(音)</li> <li>○木の葉や木の実を仲間わけしてビニル袋に入れて持ち帰る。(葉はおしぼにだけ方がよい。)</li> </ul>
	(2) 二 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各自、自由な数え方で、集めた木の葉や木の実を数えることができる。</li> <li>○速く正しく数える方法を見つけることができる。</li> <li>○10ずつまとめて数えることができる。</li> <li>○100までのものを正確に数えることができる。</li> </ul>

5. 学習指導過程

- (1) 目標 秋の野山に出かけて色づいた木の葉や木の実を集め、色や形の美しさやおもしろさに気づくとともに、その特徴から連想して作りたいたいのものを並べて遊ぶことができる。
- (2) 展開

過程目標	学習活動と内容	時配	合科的指導の方法	評 価
○木の葉や木の実あつめに興味や関心をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木の葉や木の実で作ったものを見て色のおもしろさについて話しあう。</li> <li>○採集計画を立てる。</li> <li>・木の葉や木の実をたくさん集められようところ</li> </ul>	15分	○VTRや実物の作品を見せて、葉や実の色や形のおもしろさを見出させ、採りに行きたいという興味をおこさせる。	○木の葉や木の実を集めて遊んでみたいという意欲を持ったか。

5. おわりに

合科的指導単元作成の手順について、具体例をとおして紹介してきたが、高野尚好文部省教科調査官は、合科的指導実施のためには「学校体制づくりと指導計画づくりを行うことである。つまり合科的な指導は、一人の教師の熱意や思いつきでは十分な成果を上げられるものではない。それは、学校全体の意志と計画的な指導が固められて、はじめてできるものである。」と述べ、全校的な研究組織の中で取り組むべきであることを強調している。ここに紹介してきた具体例を参考にして計画的な合科的指導実施の一助になれば幸いである。

引用・参考文献

研究紀要 185, 189, 200集 千葉県教育センター  
 小学校低学における合科的指導に関する研究 全教連  
 研究報告書第120号 愛知県教育センター  
 学校運営研究 8月号 明治図書  
 小学校教育課程一般指導資料 I 文部省